

転出者アンケート集計結果

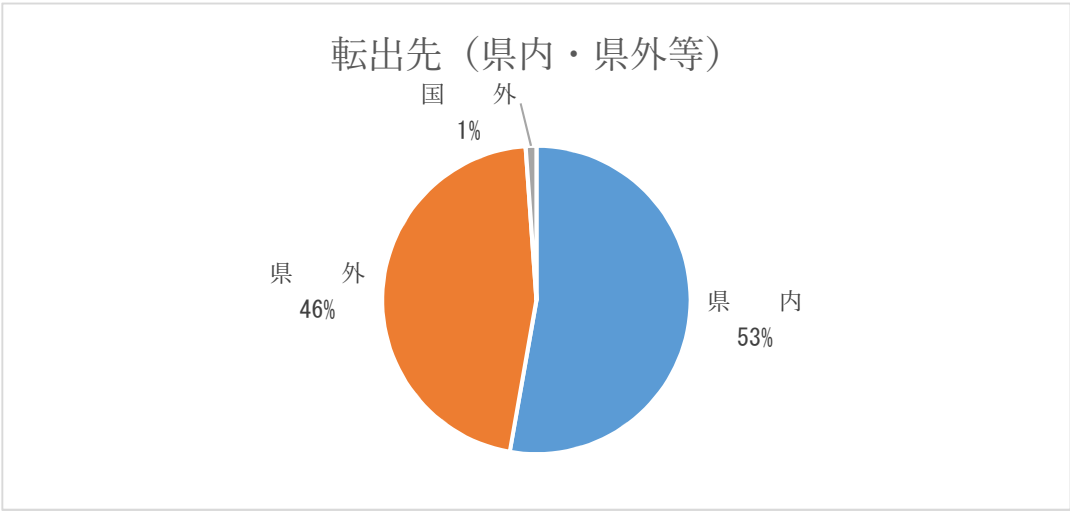
I 調査の概要

- 調査の目的：転出先やその理由等を年齢階層別、居住地別に把握し、今後の移住促進に係る施策や広報に活用する。
- 実施期間：令和3年5月31日（月）～令和4年5月30日（月）〔1年間〕
- 調査対象：県内41市町の窓口で転出届を提出された方
- 調査方法：転出届受付窓口で、転出届提出者にアンケートチラシを配布、回答者はスマートフォン等によりWeb上の特設サイトで回答
- 回収状況：3,930件

II 調査結果

1 転出者全体の集計

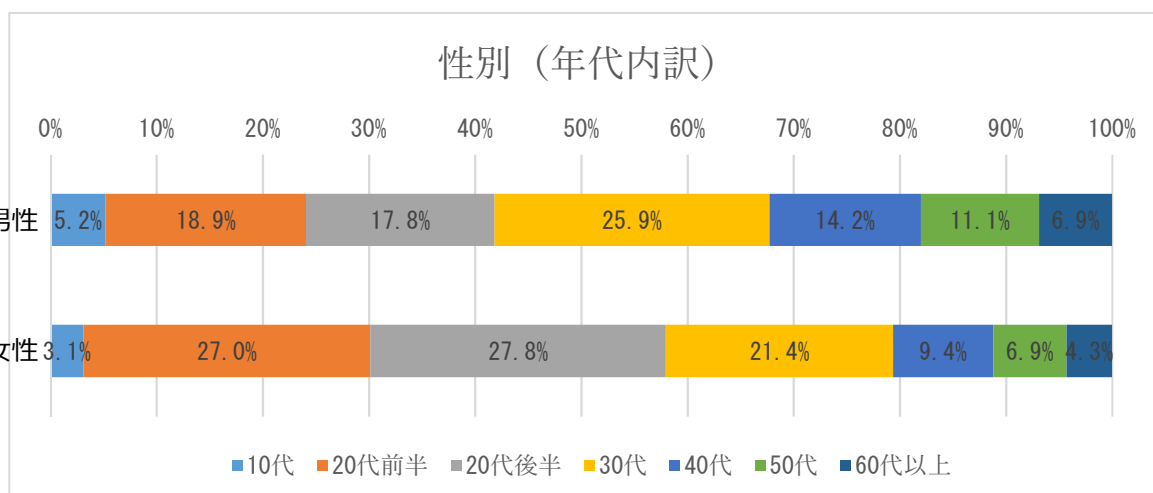
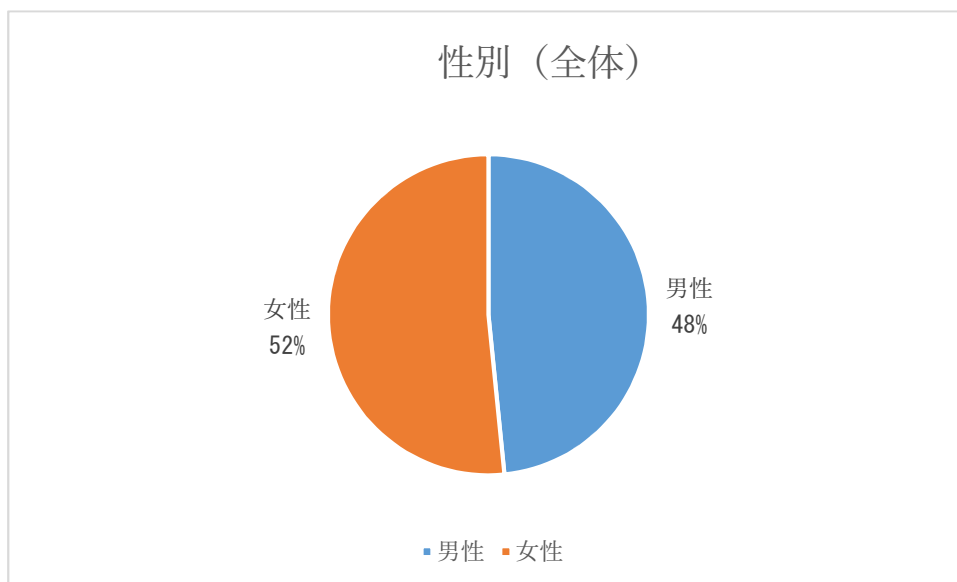
全回答者のうち、県内を転出先とする者は2,074人（52.8%）、県外を転出先とする者は1,812人（46.1%）となり、わずかに県内転出者が多くなった。



県内・県外等の別	回答者数	割合
県内	2,074	52.8%
県外	1,812	46.1%
国外	44	1.1%
計	3,930	100%

[回答者の性別・年齢]

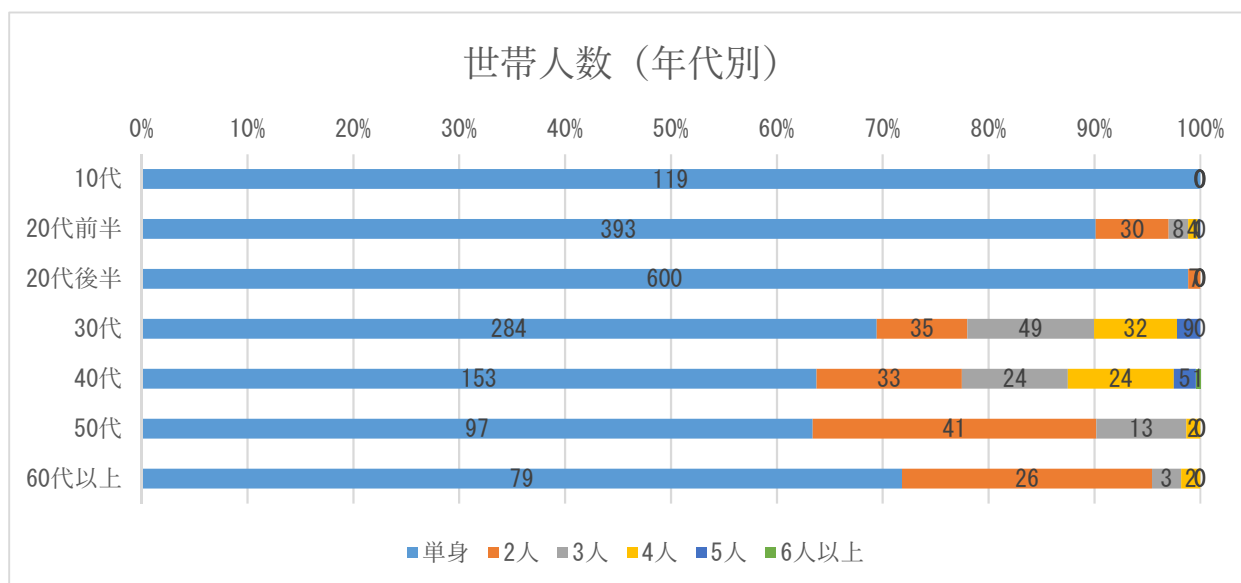
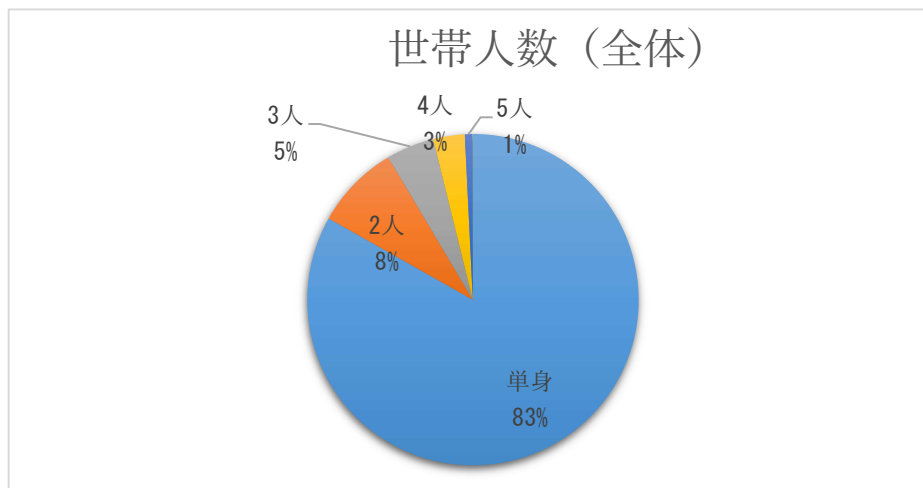
- ・男女比はほぼ半分となっている。
- ・男性は20代が3割（35.7%）を、女性は20代が5割（54.8%）を超えている。



性別	10代	20代前半	20代後半	30代	40代	50代	60代以上	計	割合
男性	99	359	338	493	271	212	131	1,903	46.6%
	5.2%	18.9%	17.8%	25.9%	14.2%	11.1%	6.9%	100.0%	
女性	63	548	564	434	191	140	87	2,027	53.4%
	3.1%	27.0%	27.8%	21.4%	9.4%	6.9%	4.3%	100.0%	
合計	162	907	902	927	462	352	218	3,930	100%
	4.1%	23.1%	23.0%	23.6%	11.8%	9.0%	5.5%	100%	-

[回答者の世帯人数]

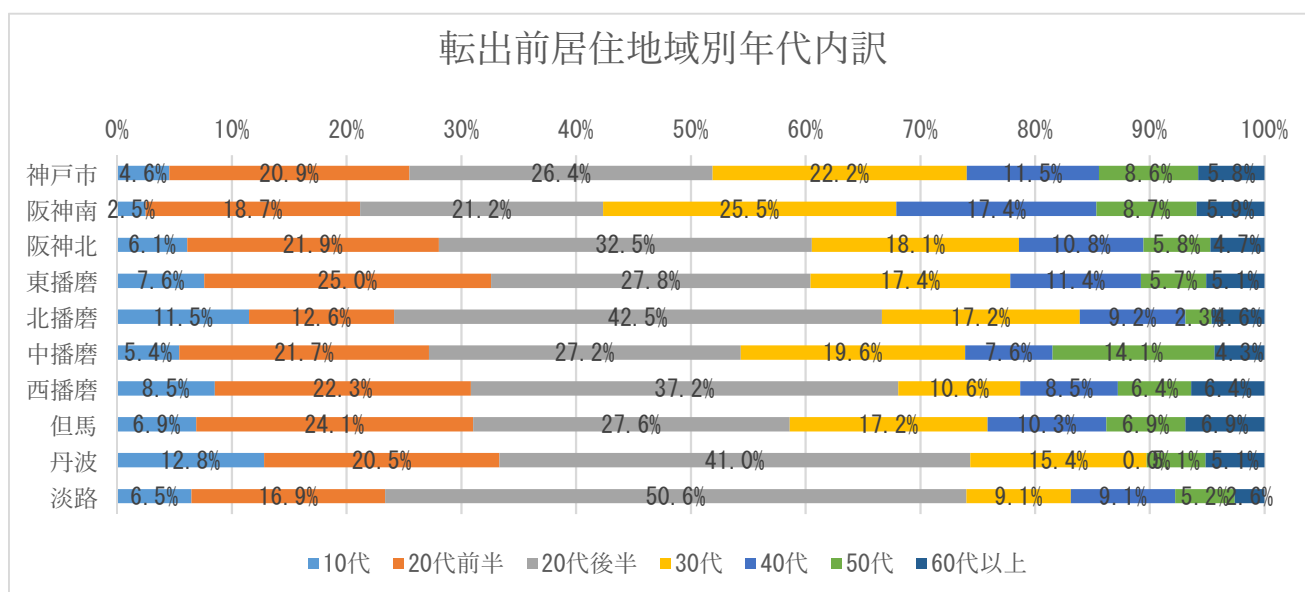
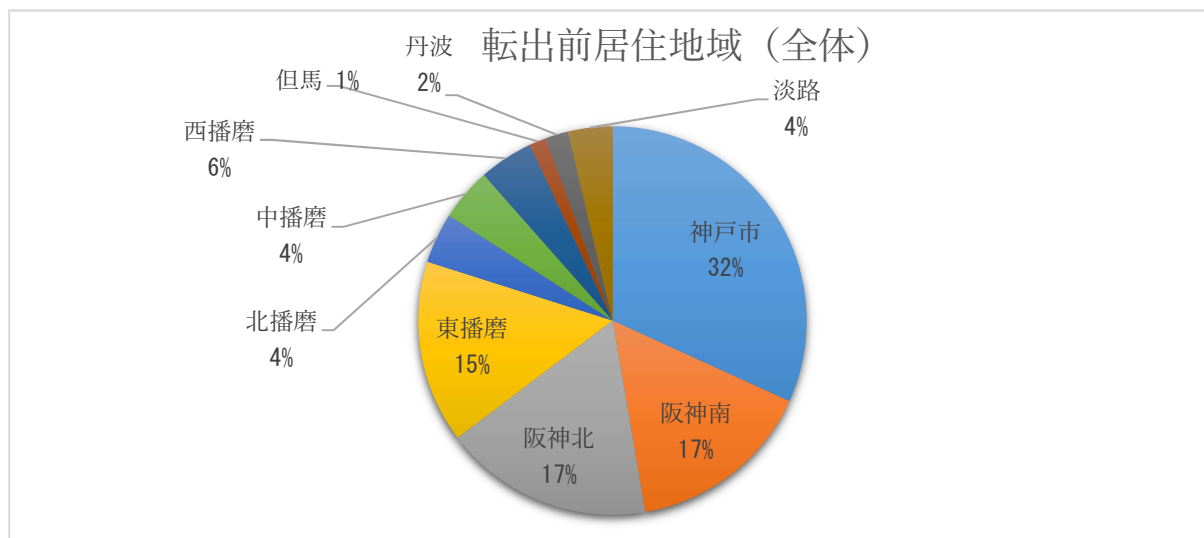
- ・ 単身が 83% と圧倒的に多く、次いで 2 人が 8%、3 人が 5%、4 人が 3% と続いている。
- ・ 年代別の世帯人数では、20 代前半は約 90%、20 代後半は約 97% が単身である。その他の世代も単身者の比率が高い。



世帯人数	10代	20代前半	20代後半	30代	40代	50代	60代以上	計	割合
単身	119	393	600	284	153	97	79	1,725	83.2%
2人	0	30	7	35	33	41	26	172	8.3%
3人	0	8	0	49	24	13	3	97	4.7%
4人	0	4	0	32	24	2	2	64	3.1%
5人	0	1	0	9	5	0	0	15	0.7%
6人以上	0	0	0	0	1	0	0	1	0.0%
計	119	436	607	409	240	153	110	2,074	100%

[転出前の居住地(圏域別)]

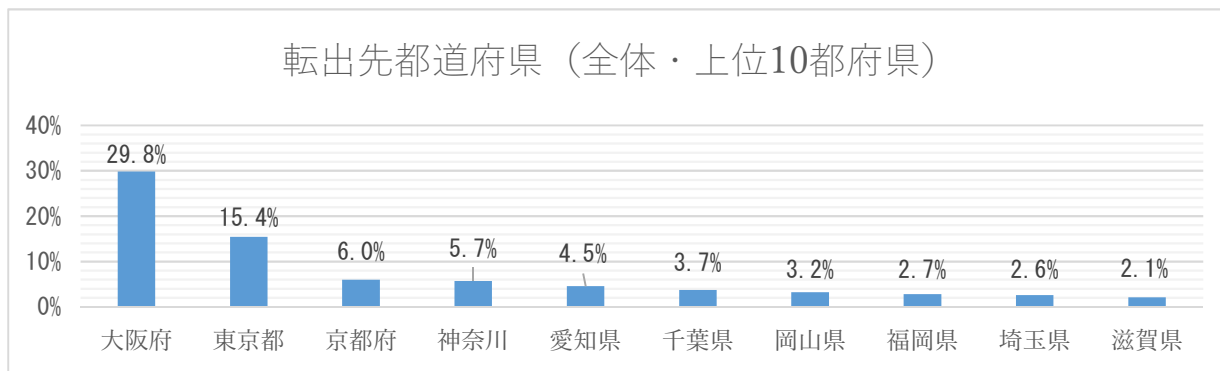
- ・神戸市が約 32%と多く、次いで阪神北地域、東播磨地域、阪神南地域が多く、この4地域で全体の8割を超えている。



市・地域	10代	20代前半	20代後半	30代	40代	50代	60代以上	計	割合	(参考) R3 人口構成比
神戸市	30	138	174	146	76	57	38	659	31.8%	27.9%
阪神南地域	8	60	68	82	56	28	19	321	15.5%	19.0%
阪神北地域	22	79	117	65	39	21	17	360	17.4%	13.1%
東播磨地域	24	79	88	55	36	18	16	316	15.2%	13.1%
北播磨地域	10	11	37	15	8	2	4	87	4.2%	4.8%
中播磨地域	5	20	25	18	7	13	4	92	4.4%	10.5%
西播磨地域	8	21	35	10	8	6	6	94	4.5%	4.5%
但馬地域	2	7	8	5	3	2	2	29	1.4%	2.9%
丹波地域	5	8	16	6	0	2	2	39	1.9%	1.8%
淡路地域	5	13	39	7	7	4	2	77	3.7%	2.3%
計	119	436	607	409	240	153	110	2074	100%	

[転出先都道府県]

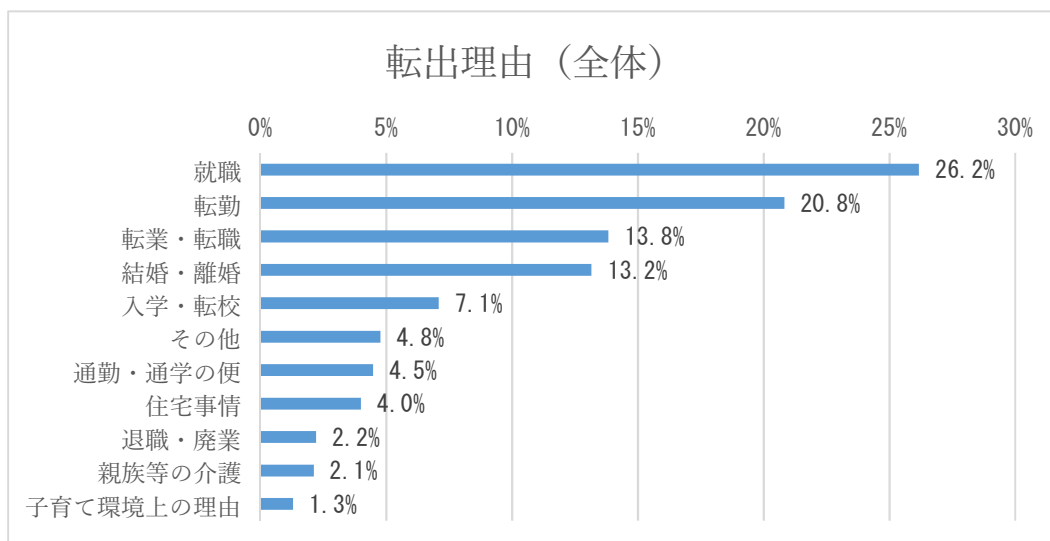
- ・大阪府が約 29.8%で、東京圏（東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県）の 27.4%よりも多い。
- ・R2 年の転出先割合（大阪府約 34%、東京圏約 24%）と比較しても、大きな相違は見られない。
- ・大阪府は 20～30 代が約 75%と東京圏の約 70%に比べて多いものの、他の府県と比べて突出して多いわけではない。



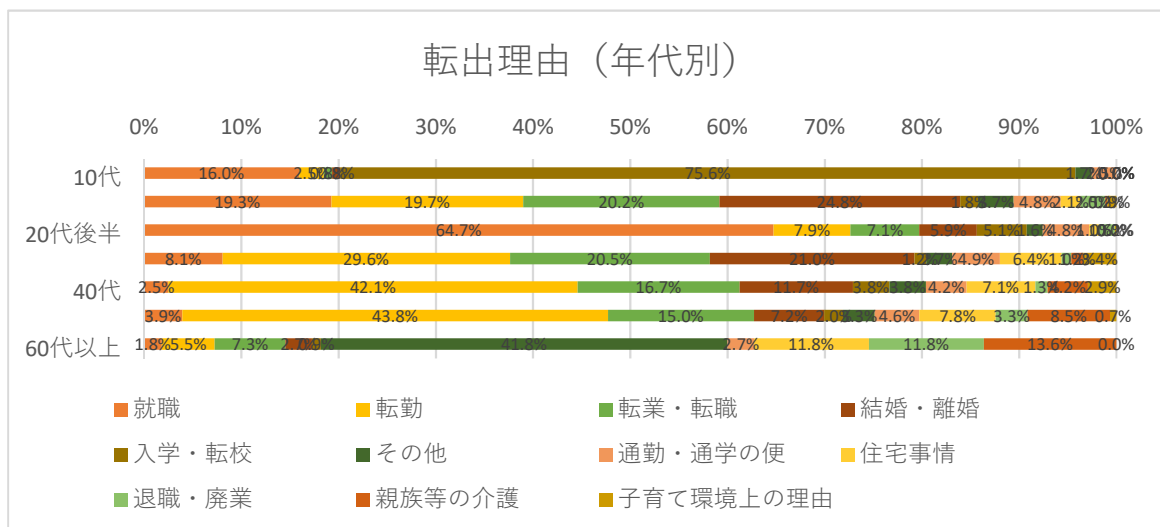
都道府県名	10代	20代前半	20代後半	30代	40代	50代	60代以上	計	割合	(参考) R2 転出先割合
大阪府	15	157	169	142	63	32	40	618	29.8%	33.9%
	2.4%	25.4%	27.3%	23.0%	10.2%	5.2%	6.5%	100.0%		
東京都	21	108	67	49	42	20	12	319	15.4%	12.9%
	6.6%	33.9%	21.0%	15.4%	13.2%	6.3%	3.8%	100.0%		
京都府	11	47	21	21	11	9	4	124	6.0%	5.5%
	8.9%	37.9%	16.9%	16.9%	8.9%	7.3%	3.2%	100.0%		
神奈川	10	35	26	19	14	9	5	118	5.7%	5.6%
	8.5%	29.7%	22.0%	16.1%	11.9%	7.6%	4.2%	100.0%		
愛知県	4	36	15	12	13	9	5	94	4.5%	4.1%
	4.3%	38.3%	16.0%	12.8%	13.8%	9.6%	5.3%	100.0%		
千葉県	1	22	11	16	17	6	3	76	3.7%	3.2%
	1.3%	28.9%	14.5%	21.1%	22.4%	7.9%	3.9%	100.0%		
岡山県	8	26	11	11	2	7	2	67	3.2%	2.8%
	11.9%	38.8%	16.4%	16.4%	3.0%	10.4%	3.0%	100.0%		
福岡県	3	15	12	9	6	5	7	57	2.7%	2.7%
	5.3%	26.3%	21.1%	15.8%	10.5%	8.8%	12.3%	100.0%		
埼玉県	2	19	8	13	6	3	2	53	2.6%	2.5%
	3.8%	35.8%	15.1%	24.5%	11.3%	5.7%	3.8%	100.0%		
滋賀県	3	14	8	8	6	2	2	43	2.1%	2.4%
	7.0%	32.6%	18.6%	18.6%	14.0%	4.7%	4.7%	100.0%		
計	78	479	348	300	180	102	82	1,569	75.7%	

[転出する理由] ※主な理由を一つ選択

- ・就職が26.2%と最も多く、次いで転勤が20.8%、転業・転職が13.8%と続いており、仕事面を理由とする移動が多くなっている。
- ・通勤・通学や住宅事情など、生活環境から生じる事情を契機とする転出は、比較的少ない。(通勤・通学の便4.5%、住宅事情4.0%)



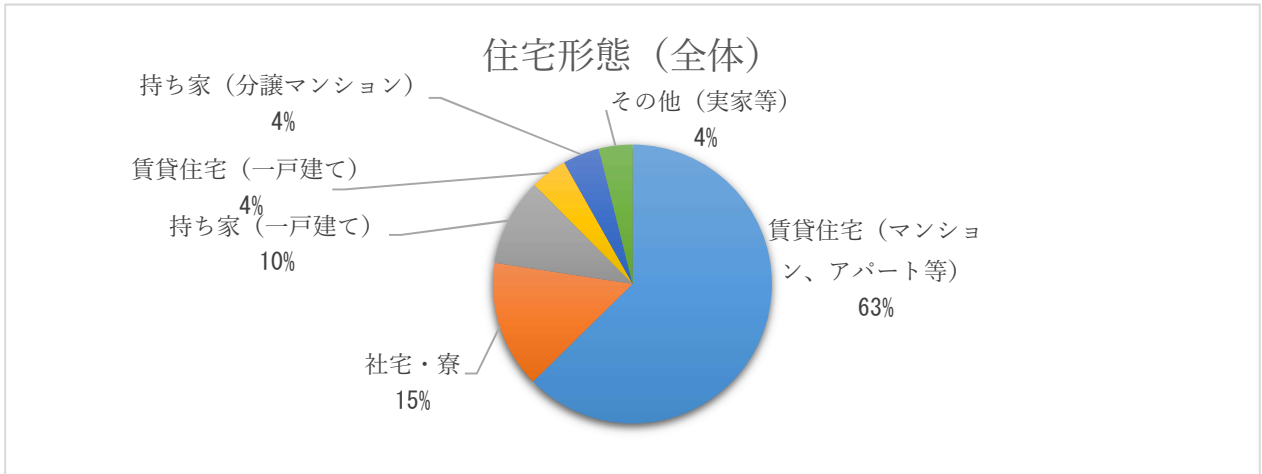
その他：同棲、介護施設等への入居、独立、孫の面倒を見る 等



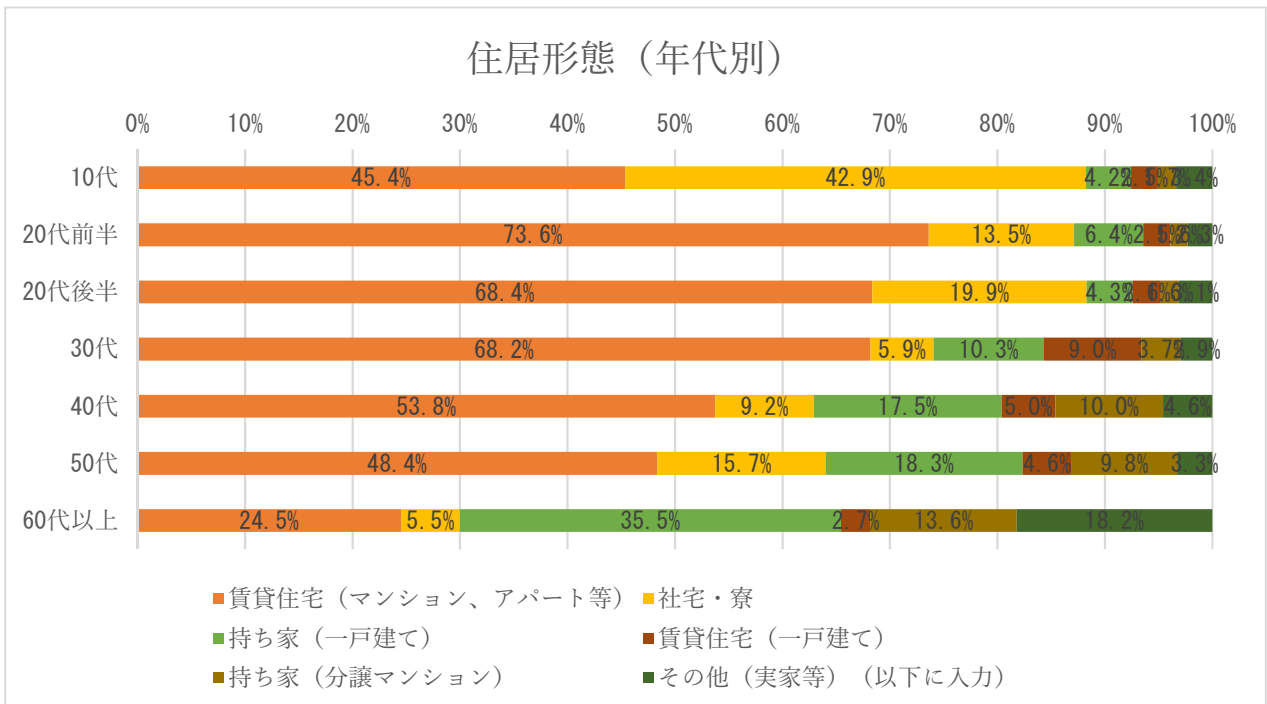
項目	10代	20代前半	20代後半	30代	40代	50代	60代以上	計	割合
就職	19	84	39	33	6	6	2	543	26.2%
転勤	3	86	48	121	101	67	6	432	20.8%
転業・転職	1	88	43	84	40	23	8	287	13.8%
結婚・離婚	1	108	36	86	28	11	3	273	13.2%
入学・転校	90	8	31	5	9	3	1	147	7.1%
その他	2	16	10	11	9	5	46	99	4.8%
通勤・通学の便	3	21	29	20	10	7	3	93	4.5%
住宅事情		9	6	26	17	12	13	83	4.0%
退職・廃業		11	10	4	3	5	13	46	2.2%
親族等の介護		1		5	10	13	15	44	2.1%
子育て環境上の理由		4	1	14	7	1		27	1.3%
計	119	436	607	409	240	153	110	2074	100%

[転居後の住居形態]

- ・賃貸住宅(マンション、アパート等)が約63%と最も多く、次いで社宅・寮が約15%、持ち家(一戸建て)が約10%と続いている。
- ・年代別には、概ね60代以上以外は賃貸住宅(マンション、アパート等)が最も多いが、2位は20代後半までは社宅・寮が、30代以上は持ち家(一戸建て)となっている。また、40代以上は持ち家(分譲マンション)が18%程度となっている。



その他：実家、介護施設、グループホーム等、親族宅 等

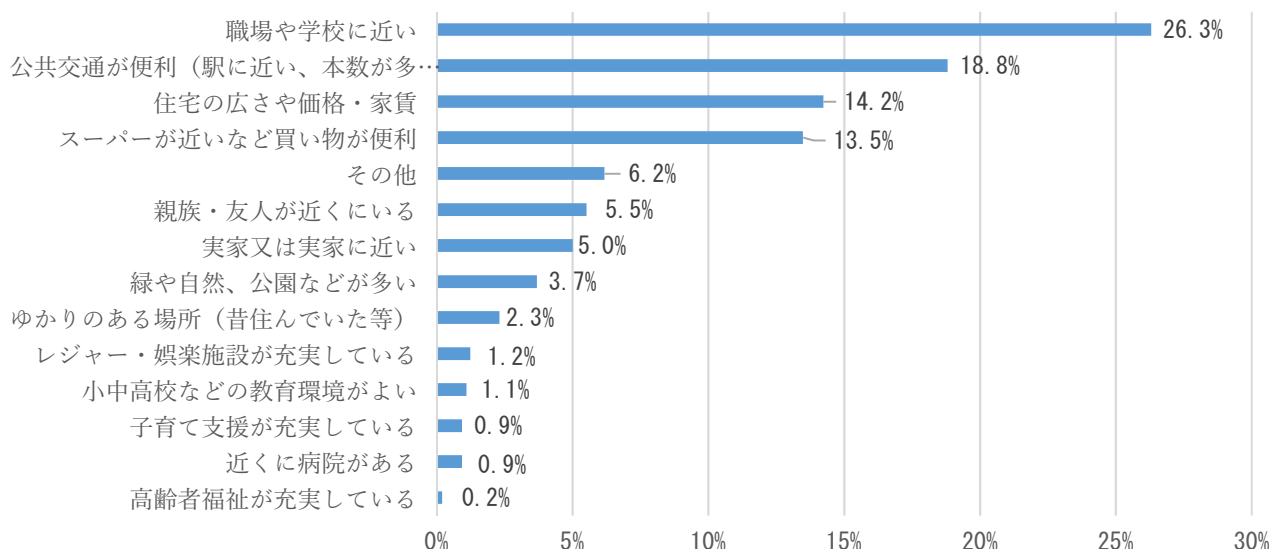


項目	10代	20代前半	20代後半	30代	40代	50代	60代以上	計	割合
賃貸住宅 (マンション、アパート等)	54	321	415	279	129	74	27	1,299	62.6%
社宅・寮	51	59	121	24	22	24	6	307	14.8%
持ち家 (一戸建て)	5	28	26	42	42	28	39	210	10.1%
賃貸住宅 (一戸建て)	3	11	16	37	12	7	3	89	4.3%
持ち家 (分譲マンション)	2	7	10	15	24	15	15	88	4.2%
その他 (実家等) (以下に入力)	4	10	19	12	11	5	20	81	3.9%
計	119	436	607	409	240	153	110	2,074	100%

[転出先の検討にあたり重視した点・決め手になった点] ※上位3つまで選択

- ・全体としては、利便性を評価する項目が概ね上位となっている。
- ・職場や学校に近いが約26%で最も多く、公共交通が便利が約19%、住宅の広さや価格・家賃、買い物が便利が約14%と続いている。
- ・子育て支援が充実しているや、小中高校などの教育環境がよいは、いずれも1%程度に止まっている。
- ・年代別には、20代後半までは、利便性を評価する項目が3位までに入っているが、30代以降は住宅の広さや価格が3位以上に入っている。

転出先の検討にあたり重視した点・決め手になった点



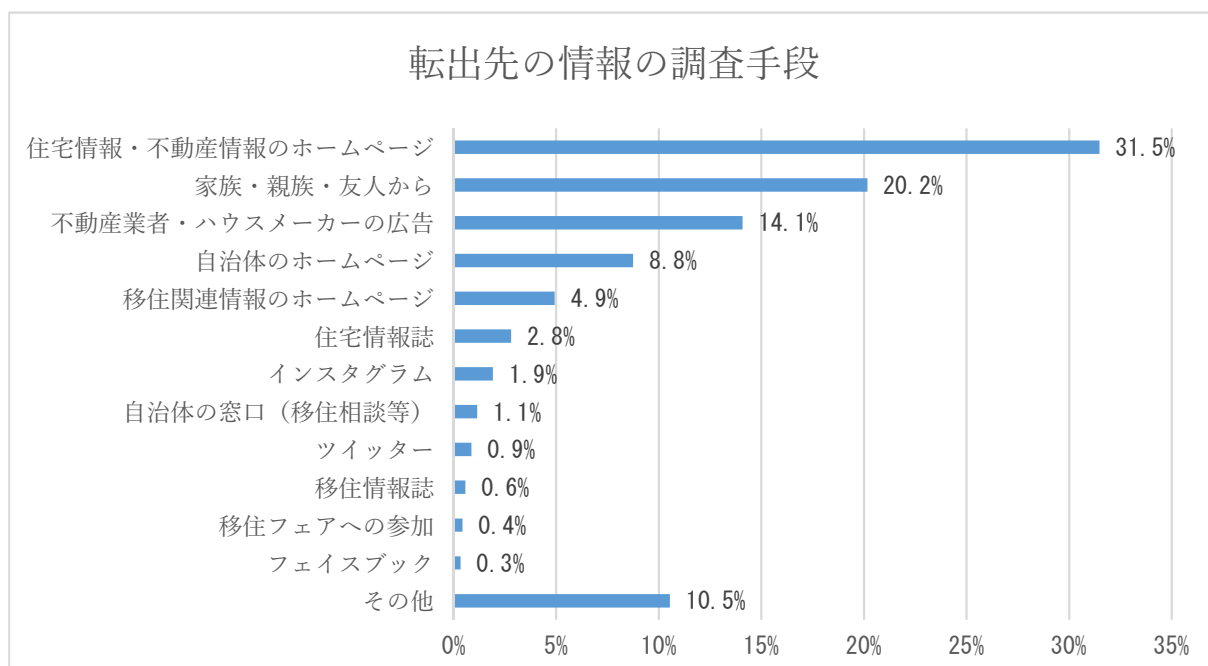
その他：災害に強い場所、ペット飼育可、農家の手伝い、楽器の搬入 等

※ほとんどが会社指定、社宅、実家、転勤 等

項目	10代	20代前半	20代後半	30代	40代	50代	60代以上	計	割合
職場や学校に近い	78	252	394	211	106	69	13	1,123	26.3%
公共交通が便利（駅に近い、本数が多い等）	26	206	229	156	106	60	20	803	18.8%
住宅の広さや価格・家賃	25	131	171	152	70	45	14	608	14.2%
スーパーが近いなど買い物が便利	20	141	187	120	54	37	17	576	13.5%
親族・友人が近くにいる	9	36	47	53	31	15	45	236	5.5%
その他	24	40	82	33	30	31	24	264	6.2%
実家又は実家に近い	4	41	33	58	36	18	24	214	5.0%
緑や自然、公園などが多い	7	28	24	44	28	15	12	158	3.7%
ゆかりのある場所（昔住んでいた等）	4	10	14	25	24	12	10	99	2.3%
近くに病院がある	0	7	8	10	5	4	6	40	0.9%
レジャー・娯楽施設が充実している	4	13	16	9	7	3	1	53	1.2%
子育て支援が充実している	1	8	2	19	8	1	1	40	0.9%
小中高校などの教育環境がよい	8	3	2	18	15	1	0	47	1.1%
高齢者福祉が充実している	0	0	0	1	1	1	6	9	0.2%
計	210	916	1209	909	521	312	193	4,270	100%

[転出先の決定にあたり情報を調べた方法] ※該当するもの全て選択

- ・約 31%が住宅情報・不動産情報のホームページで情報を入手している。次いで家族・親族・友人等から 20%、不動産業者等の広告が 14%で続いている。
- ・自治体のホームページや移住関連情報のホームページも合わせると、約 45%がインターネットで情報を調べている。
- ・SNS(インスタグラム、ツイッター、フェイスブック)は合計で約 3%に止まっており、ほとんど利用されていない。



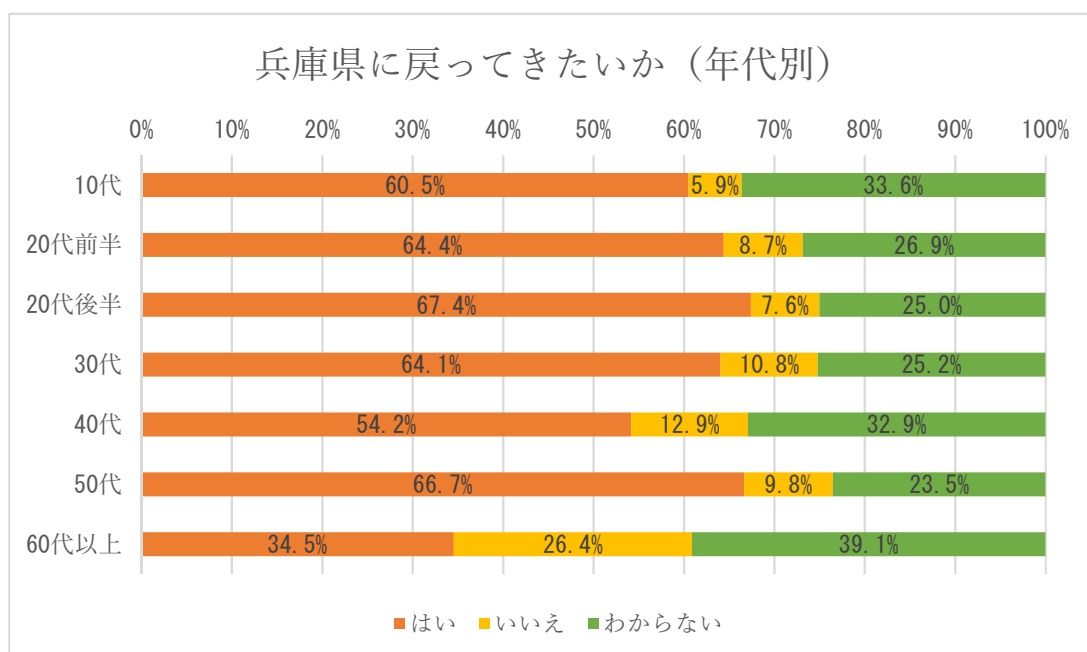
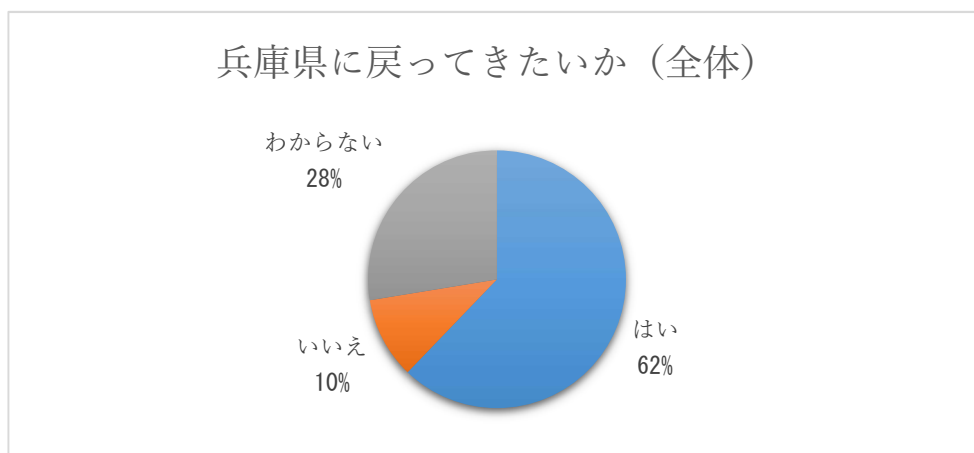
その他：同僚・上司から、不動産業者窓口、会社提携の不動産業者 等

※件数のほとんどが会社指定、社宅、実家、特になし 等

項目	10代	20代前半	20代後半	30代	40代	50代	60代以上	計	割合
自治体のホームページ	10	47	64	60	47	15	16	259	8.8%
移住関連情報のホームページ	10	23	38	38	25	8	4	146	4.9%
住宅情報・不動産情報のホームページ	37	226	239	218	127	61	24	932	31.5%
フェイスブック	1	1	2	2	1	1	2	10	0.3%
インスタグラム	2	14	22	12	5	1	1	57	1.9%
ツイッター	2	7	8	4	5	0	0	26	0.9%
自治体の窓口（移住相談等）	1	4	8	8	6	2	5	34	1.1%
移住フェアへの参加	0	0	1	4	2	3	3	13	0.4%
移住情報誌	1	5	2	4	1	1	3	17	0.6%
住宅情報誌	3	22	14	20	16	4	4	83	2.8%
不動産業者・ハウスメーカーの広告	18	89	141	79	48	30	12	417	14.1%
家族・親族・友人から	26	131	139	132	71	38	60	597	20.2%
その他	37	51	133	45	38	43	22	369	12.5%
計	148	620	811	626	392	207	156	2,960	100%

[兵庫県に戻ってきたいか]

- 全体として約 62%が戻りたいと回答した。
20 代後半が約 67%で最も高く、60 代以上を除いた全ての年代で半数以上が戻ってきたいと回答した。
- いいえ（戻ってきたくない）は、10 代が最も少なく約 6%、次いで 20 代後半で約 8%であった。60 代以上は約 26%で、その他世代は 10%前後となっている。



項目	10代	20代前半	20代後半	30代	40代	50代	60代以上	計	割合
はい	72	391	294	262	130	102	38	1,289	62.2%
いいえ	7	53	33	44	31	15	29	212	10.2%
わからない	40	163	109	103	79	36	43	573	27.6%
計	119	607	436	409	240	153	110	2074	100%

[はい、いいえ、わからないとした理由] ※自由記述

【戻ってきたい】

- ・ 下記のような記述が比較的多く見られた。
情緒的な理由（生まれ育った場所だから、〇市が好きだから）
利便性（ほどよい便利さ、新幹線船飛行機全てアクセスよく使えた、レジャー施設も多く生活がしやすい環境で東京ほど人もいない）
環境（海も山もあり気候も温暖、自然が近くにあり街も豊か、都会すぎず自然も沢山あり子育てしやすい環境）
その他、教育面が充実している、行政がしっかりしているといった意見もあった。

【戻ってきたくない】

- ・ ゆかりがない、地元が兵庫県でない、実家や自宅から遠い、様々な地域で住んでみたい、特段戻りたい理由がない等、本県特有の理由以外をあげた回答者が大半を占めた。
- ・ 坂が多すぎる、田舎だから、不便、物価が高い、固定資産税・健康保険料が高い、物価が高い、住みにくい（人や環境が悪い）等、回答者が感じた本県の特性も見受けられた。

【わからない】

- ・ 仕事の都合による、将来はどうなるかわからないといった回答が大半を占めた。その他、まだ転出して間もないから、高齢だからといった回答もあった。